

第9回沼津市議会定例会

一般質問（個人質問）

- * 一般質問（個人質問）は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。
- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
 - ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
 - ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

平成29年6月14日、15日、16日

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|---------------------|--|-------------|
| 1 | 12番 高橋 達也 *複合 | <ol style="list-style-type: none">1 小中学生の登下校時の安全確保<ol style="list-style-type: none">(1) これまでの取り組み(2) 現状の問題点(3) 同報無線を使っての下校時の地域への見守り呼びかけ2 沼津版福祉人材バンク（仮）、福祉人材センター（仮）の創設<ol style="list-style-type: none">(1) 介護等従事者の人材不足の現状(2) 従事者と事業所のマッチングができる場の必要性3 東部発達障害医療センター（仮）設置に向けた取り組み<ol style="list-style-type: none">(1) これまでの取り組み(2) 現状の問題点(3) 今後の県に対する要望活動4 狩野川沿いの遊歩道、サイクリングロードの建設<ol style="list-style-type: none">(1) 遊歩道、サイクリングロード設置に対する要望への対応(2) 遊歩道、サイクリングロードの必要性 | 市長 教育長 |

| 順番 | 氏 名 | 要 旨（個人質問） | 答 弁 を 求める者 |
|----|-----------------------|--|-------------|
| 2 | 23番 加 藤 元 章 *複合 | 1 中心市街地に対する施策方針について (1) 中心市街地の政策的位置づけや役割の認識 (2) 現状の認識とこれまでの諸施策の評価、課題 (3) 固定資産税等税収面での分析、役割 (4) 今後の中心市街地のあり方や活性化の方針 (5) 大型商業施設ららぽーと進出を踏まえた中心市街地のあり方と対応策 (6) 沼津アーケード名店街地区の再開発事業の現況、今後の課題と市の役割 (7) 沼津アーケード名店街地区の再開発事業に合わせたバックアップ施策 (8) まちづくり会社等専門機関の設置への認識 2 今後注目される観光諸施策への本市対応について (1) 2019年デスティネーションキャンペーンへの対応 (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催などへの対応 (3) サイクルスポーツの聖地“ふじのくに”への対応 (4) オリンピック等での東部各自治体のネットワーク化と本市の役割 (5) 沼津港みなとまちづくり推進計画の進捗状況と方向性、課題 | 市 長 関係部長 |
| 3 | 3番 小 澤 隆 *一括方式 | 1 アニメファン等の観光客増加への対応について (1) 観光政策について ① 今までの取り組み ② 課題の認識 ③ 今後の観光客増加への対応 2 本市への移住について (1) んまジョブについて (2) 移住促進について 3 広報戦略について (1) 広報戦略担当主幹、広報推進員の事務について | 市 長 関係部長 |

| 順番 | 氏 名 | 要 旨（個人質問） | 答 弁 を 求める者 |
|----|----------------------|---|-------------------------------|
| 4 | 10番 加藤明子 *一括方式 | 1 沼津駅周辺総合整備事業について (1) 事業費等財政面への認識について (2) 鉄道高架事業を中止した場合の影響について (3) 鉄道高架関連事業用地買収への市長の対応方針 (4) 鉄道施設跡地と高架下の利活用について (5) 事業による経済波及効果について (6) 本市としての情報の発信、周知について ① 庁内外関係団体との連携 ② 今後の取り組みについて | 市 長 関係部長 |
| 5 | 13番 片岡章一 *一括方式 | 1 市立病院の経営改革について (1) 新病院長の病院経営に関する考え方について (2) 沼津市立病院新改革プランについて (3) 今後の市立病院の経営形態について 2 教育機会確保法に基づく本市の取り組みについて (1) 不登校児への学校外の支援について ① 本市の現状と認識について ② 相談指導学級やフリースクール等への連携について ③ 今後の取り組みについて (2) 形式卒業者等への新たな支援について ① 相談体制の確立について | 市 長 教 育 長 病 院 長 関係部長 |
| 6 | 6番 殿岡修 *一問一答 | 1 市長の政治姿勢について (1) 市長の言う「市長と市民との位置づけ」について (2) 市長の情報公開のあり方について 2 鉄道高架事業についての検証について (1) 工事中の地震・津波対応について (2) 鉄道高架後の周辺高層マンションの住民生活への影響について | 市 長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|----------------------|--|-------------|
| 7 | 7番 江本浩二 *一問一答 | 1 「市長が行った鉄道高架事業の検証」と市民への説明「鉄道高架事業の必要性」について (1) 費用便益比（B/C）と経済波及効果に対する認識 (2) 南北自由通路に対する認識 (3) 鉄道施設跡地の土壌汚染について | 市長 関係部長 |
| 8 | 5番 山下富美子 *一問一答 | 1 児童発達支援センターみゆきのあり方と沼津市における障がいのある子の療育支援の充実に向けて (1) 児童発達支援センターみゆきの質的改善と「センター機能」の強化に向けて ① 現状の評価と改善に向けた課題について ② 求められる「センター機能」について ③ 今後の対応について (2) 子ども・子育て支援新制度の施行と障害児支援の充実に ① 新制度のもと、沼津市の取り組みの現状について ② 保育所等との関係機関の連携の強化について (3) 1歳6カ月・3歳児健康診査の現状とその後の取り組みについて ① 受診率や障がいの出現率等の推移や現状と課題について ② 健診後のフォローアップの継続性と連携の確保について (4) 療育支援の体制の強化について | 市長 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|---------------------|---|-------------------|
| 9 | 1番 尾藤正弘 *一括方式 | 1 歳入の取り組みについて (1) 個人住民税について (2) 固定資産税について ① 償却資産 ② 境内地等非課税資産及び農地 (3) 河川占用料について 2 住宅困窮者に対する施策について 3 防犯灯の早期LED化について 4 誘致について (1) スポーツの全国・世界大会開催やスポーツ合宿等について (2) 企業誘致について 5 黒瀬橋のアンダーパス化について 6 部活動指導員の活用について 7 魅力あるまち「沼津」について (1) 「（仮称）沼津でいちばん大切にしたい会社」大賞の創設 (2) 通学・通勤できるまち「沼津」 (3) 国の「二輪高速乗り放題」施策に連動した観光交流プラン 8 保育所等の適正配置について | 市長 教育長 関係部長 |
| 10 | 4番 霞 惠介 *複合 | 1 沼津市の観光資源について (1) 地域資源の活用について ① ぬまづの宝100選について ア 観光資源活用に向けた基本的な考え方とぬまづの宝100選との関係について ② ぬまづの宝100選以外の地域資源の活用について ③ 多くの地域資源を生かしたまちづくりについて ア 歴史的価値の高い浮島沼の地域資源について 2 教育行政について (1) 小中学校の環境整備について ① エアコン設置に向けた実態調査について ② エアコン設置の時期や課題について (2) 学校訪問について | 市長 教育長 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を求める者 |
|----|---------------------|---|-------------------|
| 11 | 15番 深田昇 *一問一答 | 1 留守家庭児童が過ごす放課後等のあり方について (1) 放課後児童クラブについて ① 放課後児童クラブの運営状況について ② 子ども・子育て支援新制度への対応について ③ 利用者ニーズの把握と対応について (2) これからの留守家庭児童対策について ① 公共施設を活用した対策 ② 学校と連携した対策 ③ 放課後子ども教室と連携した対策 | 市長 教育長 関係部長 |
| 12 | 16番 梶泰久 *複合 | 1 安全に自転車が利用できるまちづくりについて (1) 自転車が安全に利用できる環境づくりについて ① 自転車が安全に道路等を通行するための整備に関する実績と今後の取り組みについて ② 近隣市町との連携による安全対策について (2) 児童生徒を中心とした段階的な交通安全教育について (3) 損害賠償責任保険の必要性と加入促進について (4) 自転車の安全利用条例の制定について | 市長 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|----------------------|--|-------------|
| 13 | 17番 原 信也 *一括方式 | 1 名所等の整備と活用について (1) 千本松原について (2) 国道1号の桜並木について 2 ウオーキングイベントとの連携について (1) 市内で行われる各組織のイベントの把握 (2) イベントとの連携と利用 3 情報発信について (1) 広報紙について ① 広報ぬまづ以外の市関連広報紙との統合 ② 広報紙への広告掲載 (2) ネット発信について ① 各部署の発信状況 ② 個々職員の対応と研修 4 空き家対策について (1) 市内空き家の状況とデータ化について (2) 全国空き家バンクへの対応 5 産業の振興について (1) 沼津市独自の東京アンテナショップ設置 6 アスルクラロ沼津の支援について (1) 市の支援の現状に対する認識について (2) J2への昇格条件について | 関係部長 |

| 順番 | 氏 名 | 要 旨（個人質問） | 答 弁 を 求める者 |
|----|---------------------------|--|---------------------------|
| 14 | 18番 渡 部 一 二 実 *一問一答 | <p>1 本市の下水道計画区域の見直しについて</p> <p>(1) 下水道計画区域に対する考え方について</p> <p>① 下水道計画区域と市街化区域との整合性について</p> <p>② 下水道計画区域と都市計画税との関係性について</p> <p>③ 下水道と合併浄化槽の水質改善能力について</p> <p>(2) 市民への説明会の進捗状況について</p> <p>① 市民説明会の実施計画と進捗状況について</p> <p>② 合併浄化槽の補助制度等の検討状況について</p> <p>③ パブリックコメントの実施計画について</p> <p>④ これまでの説明会で出された市民の主な意見について</p> <p>2 本市の上水道の事業拡張について</p> <p>(1) 平成22年第15回定例会における水道部の答弁に関する認識について</p> <p>① 上水道の未整備区域の解消を図る意義について</p> <p>② 専用水道の管理者等との協議状況と、その意向の確認結果について</p> <p>③ 第5期拡張事業が大幅に遅延した理由について</p> <p>④ 第6期拡張事業計画に未着手となった理由について</p> <p>(2) 上水道を取り巻く環境変化に対する認識について</p> <p>① 料金改定（平成22年9月）以降の上水道事業の経営状況について</p> <p>② 東日本大震災を契機とした耐震対策に対する方針変更について</p> <p>③ 人口減少、給水水量の減少に対する上水道事業の対応策について</p> <p>(3) 今後の上水道の拡張事業について</p> <p>① 井田簡易水道の上水道事業への統合・編入について</p> <p>② 分譲住宅地などの専用水道の上水道事業への統合・編入について</p> | 市長 水道事業 管理者 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|---------------------|--|-------------|
| 15 | 8番 梅沢 弘 *一問一答 | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 民主主義と住民投票に対する市長の認識について</p> <p>① 平成29年2月定例会における市長の発言について</p> <p>② 「市長と語る会」について</p> <p>ア 動機について</p> <p>イ 他市の事例について</p> <p>ウ 市長の説明で市民は納得するのか</p> <p>③ 「地方自治は民主主義の学校」の意味について</p> <p>④ 地方行政のトップとして民主主義の重要性について</p> <p>⑤ 市長発議の住民投票の検討について</p> <p>(2) 沼津駅周辺総合整備事業と本市の持続可能性に対する市長の認識について</p> <p>① 国の財政悪化に対する市長の認識について</p> <p>② 毎年9億1000万円の事業費負担に本市財政は耐えられるのか</p> <p>③ 市債の9分の2の交付税措置に40年後までの継続性はあるか</p> <p>④ 歴代市長の沼津駅周辺総合整備基金発言について</p> <p>⑤ 市長の「財政は大丈夫」発言の根拠について</p> <p>(3) 無電柱化政策に対する市長の認識について</p> <p>① 無電柱化の推進に関する法律制定による本市への今後の影響について</p> <p>② 「無電柱化を推進する市区町村長の会」について</p> <p>③ 沼津港・下河原周辺の無電柱化対策について</p> | 市長 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を求める者 |
|----|----------------------|--|------------|
| 16 | 21番 中田孝幸 *一括方式 | 1 市長の政治姿勢について (1) 地震・津波対策について ① 世界一元気な沼津への最重要課題としての認識 ② 地方自治の目的と人命についての認識 ③ 被害予想と市が掲げる減災目標についての基本的認識 ④ 沼津市地震・津波対策アクションプランによる、緊急対策期間の到達と評価 ア 減災対策の達成状況について イ 避難開始のおくれの要因とその対策について ウ これまでの事業費と実施事業について ⑤ 今後の減災目標 ア 死者ゼロについて イ 沼津市地震・津波対策アクションプランの前倒し・充実について | 市長 関係部長 |

| 順番 | 氏名 | 要旨（個人質問） | 答弁を 求める者 |
|----|---------------------|---|-------------|
| 17 | 22番 川口三男 *複合 | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「鉄道高架事業の必要性について」と題して発表した市長の認識について</p> <p>① この時期に発表した意図とこれまで必要としてきた内容との違いについて</p> <p>② 市長選挙時になぜ「検証」をしようと考えたのかについて</p> <p>③ 人口減少の視点からの鉄道高架事業の「検証」の認識について</p> <p>(2) 「世界一元気な沼津」を目標としたまちづくりの目的となる具体的な内容について</p> <p>① 市民にどのような価値を提供できるのかについて</p> <p>② どのような都市機能を呼び込むのかについて</p> <p>③ 人口減少をどのように食いとめられるのかについて</p> <p>(3) 「世界一元気な沼津」を実現するための財源確保とその配分の認識について</p> <p>① 「世界一元気な沼津」の優先すべき具体的な政策内容と必要財源について</p> <p>(4) 県の「公共経済波及効果分析表」に基づく経済波及効果、約1,590億円の根拠について</p> <p>① 沼津市における経済波及効果とその金額的な見通しについて</p> <p>(5) 鉄道高架事業中止の場合、用地取得費用110億円及び国・県への執行済み事業費約30億円の返還の可能性があるという市長の認識について</p> <p>① 140億円返還すれば鉄道高架事業は中止できるのかについて</p> | 市長 |
| 18 | 20番 水口淳 *一括方式 | <p>1 ロシア極東都市との姉妹都市提携への考え方について</p> <p>2 戸田地区センターについて</p> <p>(1) 戸田地区の特性を生かした利活用について</p> | 市長 |